

Hand in Hand

1学期を振り返って



10月1日(金)に行った学年集会では、各クラスの学年委員さんから「1学期を振り返って」と題して発表してもらいました。紹介します。

3年生の1学期も残すところあと1週間です。みなさんは、4月からの5カ月間をどのように過ごしてきましたか。秋休みが明けてからの2学期の生活をより充実したものにすることも、1学期の生活を振り返ってほしいと思います。

まず、私たち4組の良い点は何でしょうか。1つに、仲が良いということが挙げられます。目立った対立はなく、授業での意見交換も活発に行われています。夏休み前の体育祭や合唱祭でもリーダーや実行委員を中心に、それぞれが精一杯できることをしていたと思います。結果には結びつかなくとも、そこでクラスの団結力が高まったように感じます。また、4組の人にはリーダーとして仕切るのが上手な人や、発表が上手な人が多いと思います。ぜひ、良い点を他の人と影響し合っていると良いと思います。

では、改善すべき点は何でしょうか。3年4組は以前から休み時間に密について注意されてきたと思います。何のために制限された生活を送っているのかを考えて、今の距離感を改めてほしいと思います。また、4組の「領域展開～大丈夫、四組最強だから～」という学級目標には、全員が過ごしやすいクラスにしよう、クラスの可能性を広げようという意味が込められています。騒がしいクラスは居心地の良いクラスと言えるでしょうか。ぜひ周りの人のことを考えて行動してほしいと思います。また別の課題点として、メリハリがつかないと感じます。具体的には授業中の反応が悪いことや、課題の提出率の低さなどがあげられます。これらは一人一人の心掛けで変わることです。一人一人の意識が変わることで、クラス全体の行動も変わることがあります。ぜひ皆さんがクラスを動かす力になってほしいです。

ぜひ、これからも良い点は伸ばしつつ、改善すべき点を減らしていきましょう。1学期前半に高めた団結力を生かして、みんなで頑張っていきましょう。

4組

もうすぐ3学年の1学期が終わります。みなさんはどう過ごせましたか。前期最高学年として、自覚と責任を持ったり、勉強や部活にも力を入れたりすることができましたか。私は、普段のクラスの皆の生活をみて、良い点、改善点があると思ったので紹介します。

まず良い点としては、団結力があることです。今年は、昨年と違い、青陵三大祭である体育祭、合唱祭、青陵祭を行うことができました。それぞれの場で、団結力を発揮することができ、とても良かったと思います。また、テスト前の休み時間に、皆で問題を出し合っていたのも、協力という面でも良かったと思います。2学期でも、普段の生活で何か問題が起こったら、みんなで協力して解決できるようにしましょう。

2つ目の良いところとしては、一人一人が毎日楽しそうに話したり、笑っていることです。私が教室を見わたすときは、いつも皆が誰かと話しているのを見ます。それは良いことだと思うので、これからも続けられるように頑張りましょう。

一方で改善すべき点もあると思います。それは、少し、クラスでグループ化が見られることです。同じ人とずっといることも大事なことだと思いますが、より多くの人と関わることも大切なので、これからは、今まであまり関わることのなかった人でも積極的に話してみよう。

2つ目の改善すべき点は、Chromebookの使い方です。これは、夏休み前の学年集会でも話が取り上げられていましたが、まだゲームをしている人がいるなと思ったので、やめましょう。Chromebookが何のために配付されたのかを考えて使い方をもう一度改めましょう。

1学期がもうすぐ終わり、尚志式もあり、後期の授業も始まります。そのためにも中学の内容をもう一度復習し、完璧な状態で後期の内容に入れるようにしましょう。また、今の時期は地元の友だちは一生懸命に受験勉強をしていますが、私たちは中だるんでしまっています。ここで地元の友だちにも、だらけてしまう自分にも負けずに頑張っていきましょう。

3組

みなさんはこの1学期をどのように過ごしましたか。一生懸命頑張れた。少し怠けてしまったかもしれない。色々な思いがあると思います。それでは、私が思った3年2組の全体として1学期での良い点、課題点を振り返ろうと思います。

まず、良い点は朝に勉強している、そして課題の提出率が良いところだと思います。要するに、頑張っていて偉いなと思っています。月曜日の朝に週末課題が山積みになっているのを見て、私はいつも密かに誇りに思っていました。「勤勉は成功の母」ということばがあるらしいので、これからも続けて頑張りましょう。また、3年2組の皆は優しいと思います。困っているときには助けてくれたり、お願いしたことは快く引き受けてくれたりと、学級目標の Jump with us のように皆で助け合うことができるクラスなのだと感じました。

次に、課題点は授業中の発言が少な過ぎるところです。隣の人やグループで話し合うときは活発に発言しますが、先生の話の聞いているときに先生からの問いかけへの返答が少ないと思います。私も決して人のことを言えないのですが、あまりに発言しないので沈黙が流れることが多々あり、毎回気まずい思いをします。私たちが先生側に立ったときに、投げかけたのに返ってこなかったらやはり悲しくなると思います。授業も会話と同じように一方通行になってはいけないのではないのでしょうか。

長所は短所で、短所は長所でもあります。いつどちらに転がるか分かりません。それは長所で居続けようとするれば長所のまま、短所を長所にしようとするれば長所になるということです。勉強と同じように、得意を伸ばして苦手を少なくしましょう。それが3年2組の皆、そして3学年の皆はできます。あと半年で高校生です。気を引き締めてこれからも頑張っていきましょう。

2組

1組の学級目標は『3の1ICT宣言～愛はクラスを救う～』です。この目標には、2つの意味があります。1つ目はそのまま“3の1大好き!”という意味と、2つ目は“I can try”, つまり“挑戦できる”という意味です。サブタイトルは最初「愛は世界を救う」だったけれど、世界は規模が大きすぎるのではないか?という意見が出て、クラス全員で“世界を救う”か“クラスを救う”かを話し合って決めたことを今でも覚えています。

3の1のみなさん! 1学期は学級目標に見合うような充実したものになったでしょうか? 1組全員で仲良く過ごし、いろんなことに挑戦できましたか? 私はこの学級目標を達成できていたと思います。その理由は2つあります。1つ目は、クラス全員が男女関係なくとても仲が良いと思うからです。男子も女子もそれぞれのグループを超えて本当に仲が良く、「チーム1組」としての団結感がありました。その仲の良さは、1組に“コミュニケーションカ”モンスターが何人もいて、その人たちが持ち前の力でみんなを繋げてくれたことが大きかったと思います。でも、そのきっかけをもとに更に仲を深めていこうとする気持ちが1組の一人一人にあったからこそ、クラス全体で仲のいい1組を作れたのだと思います。2つ目は学級目標の通り、クラス全員が何事もチャジ精神を持ち、「気持ちで勝つ! 燃えよう!」という気持ちを持ったチャレンジャーだったからです。例えば、体育のバレーでも、1組は良い意味で騒がしかったです。周りから見れば繋ぐのが無理そうなボールでも、諦めずに全力で走って取りに行きます。全力でボールを追いかけてすぎて時々激突しそうになったり、すごい転び方をするこもあったりして危険なこともあったけど、またボールが飛んでくれば何度でも挑戦していく、そして1点1点全身全霊で喜びや悲しみを表す。そんな姿が印象に残っています。

1学期の1組を一言で表すと「元気」で、1組は明るくてにぎやかで楽しいクラスです。でも、私は少し心配な部分があります。それは、1組の良さである「元気さ」が悪い方向にはたらい、度を越した悪ノリになってしまったり、ルールを破ったりしてしまうことがあることです。休み時間、つつい熱くなり過ぎて大勢で集まって鐘が鳴ってもしゃべっていたり、周りの人が聞いたら不快になるようなことを大声で言ったり、元気過ぎて迷惑という短所になってしまうことが度々ありました。

2学期はこれらの反省を活かして、1組らしく元気に何事も恐れずにチャレンジして、後期に進む前の最後の半年を大切に過ごしましょう。前期で学習したことの復習や後期で勉強することの予習をするなど、後期への準備期間として使うのはもちろんのこと、今この3年生でしかできないことをたくさんして、今までの前期学校生活を、全力でやり切れた! と笑顔で終えられるようにしたいと思うし、みんなにもそんな気持ちになれるような半年を過ごしてほしいと思います。

1組